

県政に関する質問から(本会議の質問・答弁)

本会議では、4日間にわたって11人の議員が代表・一般質問を行い、県政が直面する課題について、県民の視点に立った議論を展開しました。
2次元コードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、各議員の全ての質問の動画を視聴できます。

9月18日 代表質問(要旨)



自民議連
くぼた やすひさ
蓬田 泰久 議員
〈広島市南区〉

高度医療・人材育成拠点 基本計画の見直し等

問 建築単価の上昇等に伴う基本計画の見直しにより、新病院が目指す理念の実現と持続可能な病院経営が両立できるのか。
また、現在の県立広島病院の跡地活用を速やかに検討する必要があるのではないか。

答 新病院の病床数は、国の動向を踏まえ再検討し、手術室の面積拡大など、より急性期医療に特化した資源の集中を図る。また、建築費高騰への対応として、既存施設の改築により総費用を抑え、専門家の助言を得て収支計画を見直した。
県病院の跡地活用は、地域住民の気持ちにも寄り添い、具体化に向け速やかに調整を進める。

その他の質問項目

- 湯崎県政16年の総括
- 人口減少に対する課題認識と対策
- 米国の関税措置を踏まえたものづくり産業への支援の在り方
- 労働力人口の減少を補完するAIなどのデジタル技術の活用
- 賃金と物価の好循環と持続可能な経営を両立させるための中小企業への支援
- 外国人材の受入れ促進 など

9月19日 代表質問(要旨)



民主県政会
たかた 穂のり
高田 穂 議員
〈安芸郡〉

米国関税による 県内企業への影響と対応

問 米国関税の県内企業への影響を緩和するには、県内産業の競争力強化に向けた付加価値の創出支援など、将来につながる踏み込んだ対策が必要と考えるが、対応をどう進めるのか。

答 県内企業の競争力強化に向け、カーボンニュートラルを起点に事業変革につなげる研究開発支援等を実施してきたほか、今回の補正予算に海外向け販売促進等支援と、生産性向上等を目的とした設備投資支援を計上した。さらなる支援策も視野に入れた、スピード感を持って影響緩和に万全を期すとともに、県内企業の将来につながる取組を推し進める。

その他の質問項目

- AI時代における本県産業の成長と雇用の創出
- AI時代を先取りした全庁的なビジョンの見直し
- イノベーション施策のこれまでの成果
- 高度医療・人材育成拠点基本計画の見直し
- 公共事業の遅れと対応
- 公立高校の在り方 など

9月19日 一般質問(要旨)



公明党
おぐま りょういち
尾熊 良一 議員
〈福山市〉

平和を次世代に継承 するための取組

問 平和を次世代に継承するための人材育成の取組と若者に向けたメッセージについて伺う。

答 グローバル未来塾など若者向け平和学習プログラムを実施してきた結果、外交官や研究者として活躍する人材も現れている。今後は、国内外の若者が被爆者の体験や思いを学び、次世代に著実に学びたいけるよう、プログラムの充実や改善を継続的に図るとともに、終了後のフォローアップ等にも取り組む。
核兵器廃絶は人類存続のための現実的・具体的目標であり、核兵器のない平和な世界の実現に向け、粘り強く一緒に取り組んでいきたい。

その他の質問項目

- 被爆地広島として果たすべき役割
- 米の安定供給に向けた生産体制の構築
- 新病院の経営強化
- 子育てしやすい広島県の実現
- 中小企業の価格転嫁支援
- 避難所における熱中症対策 など

9月19日 一般質問(要旨)



自民議連
やました まさみち
山下 守 議員
〈東広島市〉

日本酒を生かした 周遊観光振興

問 国際的に日本酒への関心が高まっている今こそ、来年5月に本県で開催されるIWC品評会SAKE部門を契機に日本酒を核とした周遊観光振興を推進してはどうか。

答 県内各地の日本酒や文化的・歴史的価値を有する酒蔵等は本県の魅力ある観光資源の一つであり、今後は宿泊税の活用も視野に、日本酒の魅力を生かしたプロダクト開発、酒蔵周辺の町並みの修景や保全、県産日本酒や酒蔵のブランド力強化などの施策の拡充とともに、外国人観光客の誘客促進に向け、広域周遊ルートの形成やプロモーションに戦略的に取り組む。

その他の質問項目

- 特別な配慮が必要な子供のための総合支援制度の創設
- 農業政策の検証及び県職員による担い手確保
- スポーツ王国広島の一部活動体制
- 広島空港のアクセス強化及び災害発生時の対応
- 半導体投資促進のためのインフラ整備
- インフラ老朽化と物価高騰に対応する維持修繕費 など

9月19日 一般質問(要旨)



民主県政会
かきもと たかまさ
柿本 忠則 議員
〈広島市東区〉

リトルベビーハンドブックの利活用

問 リトルベビーハンドブックがより保護者の気持ちに寄り添ったものとなり、さらに幅広く周知され、医療・福祉・教育分野等との情報共有の円滑化が図られるよう取り組むべきと考えるが、所見を伺う。

答 本年度、ひろしまリトルベビーハンドブック改訂検討会を設置し内容のさらなる充実を図ることとしており、ハンドブックがリトルベビーを持つ家族の一層の心の支えとなることや、安心できる環境づくりに向けた見直しを進めている。改訂後には、県SNS等を通じて広報に加え関係者への講習等の機会も利用し、周知拡大に努める。

その他の質問項目

- 母乳バンクの登録推進
- 付添い入院の環境整備
- 地区防災計画策定の推進
- 広島県立病院機構で働く方の働きがいに資する制度改正
- 芸備線の実証事業の状況
- ひろしま観光立県に向けた広島空港の活性化 など

用語解説

リトルベビーハンドブック

小さく生まれた赤ちゃんと家族のための赤ちゃんの成長の記録に活用される手帳。広島県では令和3年に発行し、対象者に対し総合周産期母子医療センター等から配付している。

用語解説

ペイハラ

ペイシェントハラスメントの略称で、医療従事者の就業環境を害する、患者(ペイシェント)やその家族による理不尽な要求や暴言等、著しい迷惑行為。

用語解説

MaaS

地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせで検索・予約・決済等を一括で提供する仕組み。

用語解説

ブルーカーボン

沿岸・海洋生態系が光合成によりCO₂を取り込んだ後、海底や深海に蓄積される炭素。その主な吸収源である藻場や干潟などの生態系は、地球温暖化防止などに効果をもたらす。